

事業所名

BaTON MINASE

支援プログラム

作成日

2025年

3月

24日

法人（事業所）理念		何事にも子ども達の利益が最優先される			
支援方針		「子どもたちの笑顔を未来へ繋ぐ」をモットーに、できた、たのしむ、そのまんま、を軸にして療育に取り組みます。			
営業時間		10時	00分	19時	00分
		8	30	17	30
		送迎実施の有無		あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	服の着脱、トイレトレーニング、箸やスプーンの使い方など、日常生活に必要なスキルを遊びを通して、楽しみながら身に付けられるよう支援します。外から帰った時や掃除した後など手を洗う習慣を身に付け、感染症対策を取り組みます。また衛生観念を養い、「手が汚れたから口に入れない」「これは触ると手が汚れる」など、自発的に感染予防ができるよう支援します。			
	運動・感覚	サーキットトレーニングや集団遊びを通して粗大運動に取り組みます。個別トレーニングや工作、学習等の時間で微細運動やビジョントレーニングに取り組みます。その内容は理学療法士や作業療法士と一緒に考えて、子どもたち一人ひとりの課題に合わせて必要な支援をエビデンスに基づいて取り組みます。公園に出掛けて大型の遊具でも遊ぶ中で、体の使い方や感覚を身に付けられるよう支援します。			
	認知・行動	事業所内にスケジュールや到着後のやることを掲示して視覚化し、次の行動など先の見通しを持てるようにします。初めて取り組む遊びや、勝敗のある遊びの時には、事前にできなかつたり負けたりしても大丈夫なことを伝え、また次頑張ろうと思えるように支援していきます。タイムタイマーを使用して、時間内に終わらせて切り替えをスムーズに行えるよう取り組みます。			
	言語コミュニケーション	日常的な挨拶や言葉遣い、相手との距離感に注意して気持ちのいいコミュニケーションを促します。困ったときや落ち着かない時に気持ちを言葉で伝えられるように導きます。また、気持ちを代弁することで今の感情を認識してコントロールできるように支援します。遊びを通して、ものの貸し借りや「ごめんね」「ありがとう」などが自然と言えるように言葉の表出を支援します。言葉が出にくい子にはたくさん話しかけることで発語を促し、言葉でコミュニケーションをとる楽しさを体験し、言語の発達を支援していきます。			
	人間関係社会性	「こんなときどうする」等のソーシャルスキルトレーニングに取り組み社会性を身に付けます。遊びを通してお友達と協力したり譲り合うことを経験し、より良い人間関係を築いていけるよう支援します。行事の一環で、模擬店形式にあそびやおやつを提供し、チケットとの引き換えやお金の概念を身に付けます。			
家族支援		半年に一回のモニタリング時だけでなく、送迎時に直接お話を聞いたり、連絡帳やLINEを活用して日頃からやり取りを増やし、何事も気軽に相談できる環境を作っています。	移行支援		保育園や小学校へ見学に伺い、違う場所での過ごし方の共有できるよう、行政や地域と連携していきます。同年代のお友達と過ごすことで環境に対する不安に寄り添います。
地域支援・地域連携		幼稚園、保育園、こども園、小学校と必要に応じて連携を図ります。送迎時に先生と日々の様子の共有や、登所時に連絡帳の確認等を行います。自立支援協議会を通じて地域との連携を図ります。	職員の質の向上		毎日、始業と終業のミーティングで一日の確認と振り返りを実施しています。外部の研修会等に参加しスキルアップに取り組みます。実務要件を満たせば児童発達支援管理責任者の資格を取得できるように取り組みます。
主な行事等		季節のイベント（七夕、夏祭り、川遊び、ハロウィン、クリスマス、節分）遠足（動物園、水族館）			